

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【公開番号】特開2009-91499(P2009-91499A)

【公開日】平成21年4月30日 (2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2007-265253(P2007-265253)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 9 D 171/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/12 C E P A

C 0 8 J 3/12 C E R

C 0 8 J 3/12 C E Z

B 3 2 B 27/00 B

C 0 9 D 171/02

C 0 9 D 133/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月27日 (2010.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の式により求められる膨潤度が 80～100%の吸水性樹脂のゲルを粉砕することにより得られる、中位粒子径が 0.01～5 μm の吸水性樹脂の微細ゲル粒子。

【数 1】

$$[\text{膨潤度}(\%)] = [\text{ゲルに含まれる水}(\text{g}) / \text{吸水性樹脂}(\text{g})] \div \text{吸水能}(\text{g/g}) \times 100$$

(式中、吸水能 (g/g) は、前記吸水性樹脂のイオン交換水に対する吸水能である。)

【請求項 2】

前記吸水性樹脂の吸水能が 1～1500 g/g である、請求項 1 に記載の吸水性樹脂の微細ゲル粒子。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の吸水性樹脂の微細ゲル粒子をコーティングしてなるコーティング膜。

【請求項 4】

基材上に、請求項 1 または 2 に記載の吸水性樹脂の微細ゲル粒子がコーティングされていることを特徴とする積層体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち本発明は、下記の式により求められる膨潤度が80～100%の吸水性樹脂のゲルを粉砕することにより得られる、中位粒子径が0.01～5μmの吸水性樹脂の微細ゲル粒子、ならびにそれにより得られるコーティング膜および積層体に関する。式中、吸水能（g／g）は、吸水性樹脂のイオン交換水に対する吸水能である。吸水性樹脂の吸水能は、1～1500g／gが好ましい。

【数1】

$$[\text{膨潤度}(\%)] = [\text{ゲルに含まれる水}(\text{g}) / \text{吸水性樹脂}(\text{g})] \div \text{吸水能}(\text{g} / \text{g}) \times 100$$

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明において、膨潤度とは、吸水性樹脂のゲルに含まれる吸水性樹脂単位質量あたりの水（g／g）の、後述の測定方法により求められた吸水性樹脂のイオン交換水に対する吸水能（g／g）に対する割合を意味する。詳しくは、次式により求められる。

【数2】

$$[\text{膨潤度}(\%)] = [\text{ゲルに含まれる水}(\text{g}) / \text{吸水性樹脂}(\text{g})] \div \text{吸水能}(\text{g} / \text{g}) \times 100$$